

旭川市手話出前講座 受講者アンケート結果（前年比較）

※ 令和2年度は12月31日現在の数値

（参考）回答率

	令和元年度	令和2年度	差(R2-R1)
受講団体数	36	14	-22
回答数	18	9	-9
回答率	50.0%	64.3%	14.3%

※1団体で複数回答する場合があるため、あくまで参考値。

1 講座内容は理解できましたか

	令和元年度	令和2年度	差(R2-R1)
A 十分理解できた	83.3%	77.8%	-5.5%
B おおむね理解できた	16.7%	22.2%	5.5%
C あまり理解できなかった	0.0%	0.0%	0.0%
D ほとんど理解できなかった	0.0%	0.0%	0.0%

※令和2年度において、Bと回答した団体の属性は「民生児童委員協議会」、「福祉サービス事業所」であり、児童に比べて取り扱う内容が踏み込んだものとなることで、理解度に影響したのではないかと考えられる。

2 講座時間の長さはいかがでしたか

	令和元年度	令和2年度	差(R2-R1)
A ちょうどよい	100%	100%	0.0%
B 長かった	0.0%	0.0%	0.0%
C 短かった	0.0%	0.0%	0.0%

3 講座に対する御要望や他に学びたい内容はありますか

（共通）

・歌に合わせて手話を学びたい。（複数）

（令和元年度）

・聴覚障がい者の生活（困りごとも含む）をもっと知りたい。（複数）

（令和2年度）

・ろう者が介護サービスを利用し、スムーズに利用できている例、困っている例などの事例があれば伺いたい。（福祉サービス事業所）

※歌に合わせて手話を学びたいという回答の背景には、手話歌を含め学芸会等での手話の活用があるのではないかと考えられる。

※令和元年度では、一般的な内容が求められている一方で、令和2年度については、より踏み込んだ内容が求められていることから、聴覚障がいへの理解の深まりが見られ、ニーズも具体的になってきている。

4 手話を学んでみた感想はいかがでしたか

（共通）

・子どもたちの興味が尽きないようだった。（小学校）

（令和2年度）

・独学では難しいと感じたが、講師がわかりやすく解説してくれてよかった。（小学校）

・事前に動画などで学んでみたが、やはり講師に直接教わることで、よりよく学びが深められた。（小学校）

※子どもの手話に対する理解を深めるとともに関心を高める機会になっていることがわかる。

※令和2年度については、直接講師に教わることでより理解が深まる旨の回答が複数あり、ろう者とのふれあいの重要性が感じられる。

5 今後もこの講座を受講したいですか

	令和元年度	令和2年度	差(R2-R1)
A ぜひ受講したい	55.6%	88.9%	33.3%
B 機会があれば受講したい	44.4%	11.1%	-33.3%
C 受講したくない	0.0%	0.0%	0.0%

※Aの回答数が増加していることから、アンケート結果から得られるニーズなどを講座の内容に反映できているものと思われ、アンケート分析の一定の成果が見られる。

6 その他（ご自由に記入ください）

（共通）

・今後も手話を学んでいきたい。（複数）

（令和元年度）

聴覚障がい・手話を学ぶことができてよかった。（複数）

（令和2年度）

・感染対策の事情で子どもたち全員に話を聞かせてあげられなかったことが残念。（小学校）

・学校で配布した透明マスクを生徒に持参するよう伝えておくべきだった。（中学校）

※手話に対する意欲が感じられる回答があり、理解の促進とともに関心を高める機会にもなっていると思われる。

※令和元年度は、学習に対する満足感についての回答が複数寄せられ、その背景に、回答者の属性として全体に占める学齢期の受講者の割合が7割程度であったことが要因と思われる。

※令和2年度は、感染症に関する回答が複数あり、受講者の感染対策への意識が見られる。